

これからの日の出町の学校

～次期教育振興基本計画の審議経過と日の出町の現状を踏まえて～

これからの日の出町の学校教育、学校づくりの方向性

- すべての子供たちによりよい人生を拓く基盤をはぐくむ学校教育
- 共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育
- まちの魅力が学校を育てる 学校づくりはまちづくり
- 多様性をエネルギーに変える学校づくり

揺らぐ学校の存在意義

- 教育機会確保法、コロナ禍の一斉休校、GIGA スクール構想、による学校の存在価値の揺らぎ
- 子供たちを学校に集めなくても、子供の学習を保障することが可能な時代に突入
- 企業立学校やフリースクール、企業や民間のオンライン学習等と公立学校が混在
- 誰もが、いつでも、どこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会の到来
- 学校でなければ学べないこと、学校の存在意義の問い直し

すべての子供たちによりよい人生を拓く基盤をはぐくむ学校

学校と地域の関係

～地域社会という「海」に浮かぶ、学校という「船」～

- 「将来、地域社会は存在するのか?」「人はいるけど、地域社会は機能しているか?」
- 海が枯れたら、船は浮かばない。
- 学校は、教職員、児童・生徒だけでつくるものでなく、地域と共につくるもの
- 学校の未来を考えることは、併せて地域社会の未来、再構築するための施策を考えること

まちの魅力が学校を育てる 学校づくりはまちづくり

学びの意義と学校教育

～「なぜ、人は学ぶのか?」「そもそも、なぜ、子供は学校で学ぶのか?」～

「一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せである「Well-being (ウェルビーイング)」の実現」
次期教育振興基本計画策定に関する文部科学大臣から中央教育審議会への諮問内容より

- 子供たちの今のしあわせ、将来のしあわせの基盤づくり
※かわりを大切に、地域・社会・自然とともに生き、夢に向かい 志をもって、自らの道を拓く
- 他者、社会のしあわせをもつくる ⇒ 人類が未だ解決できない大命題を教育の力で解決
※争いや分断、貧困や差別がない世の中、社会となる日を迎えるために学ぶ

共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育

- 人にやさしく住みよいまちの学校教育

学校のシステムは「組織」から「チーム」へ

「教員の忙しさは極限に達し、従来型の学校の在り方には限界がきている。
※学校システムの多様化 ⇒ チーム学校 ⇒ 「同質管理」から「異質管理」への転換
【これからの時代に求められるリーダー像】
多様化を取込める土壌づくりとそれを耕すことができる人

多様性をエネルギーに変える学校

先を見て、今を固める。今を見て、先を考える。

学校の教育力の限界を子供の学びや成長の限界にしない。